

バードウォッチング――

きょう、愛鳥クラブ全員と、小林先生で、バードウォッチングに行つた。出発、三時二十五分、さつそくひよどりが、小鳥小屋の上を飛んでいったが、あまりよく見えず、見そこなつた人もいた。次に、右の林の方に、しじゅうからが「チーチー」と、鳴いた。

みんなそうがん鏡を手に取つた。

これは、むねの部分に黒いネクタイの模様をしていたので、みんなすぐ分かつた。五分くらい歩き、緑川を見た。

すると、わきぜ側の石べに、かるがも五、六びきと、おしどり一びきが見えた。

おしどりは、かるがもはともかく、おしどり一びきが見えた。

みんなそのがん鏡を手に取つた。

これは、むねの部分に黒いネクタイの模様をしていたので、みんなすぐ分かつた。五分くらい歩き、緑川を見た。

すると、わきぜ側の石べに、かるがも五、六びきと、おしどり一びきが見えた。

おしどりは、かるがもはともかく、おしどり一びきが見えた。

おしどりは、かるがもはともかく、おしどり一びきが見えた。

おしどりは、かるがもはともかく、おしどり一びきが見えた。

おしどりは、かるがもはともかく、おしどり一びきが見えた。

おしどりは、かるがもはともかく、おしどり一びきが見えた。

おしどりは、かるがもはともかく、おしどり一びきが見えた。

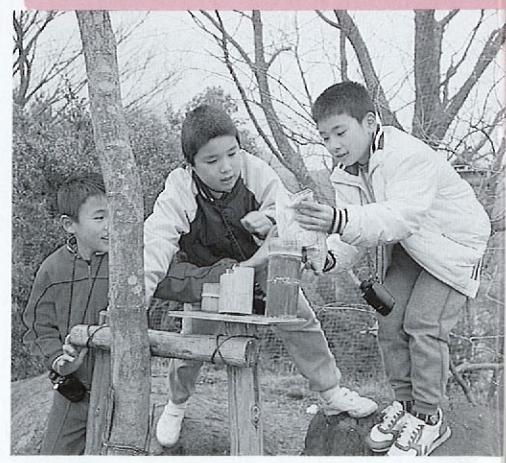
自然を教えてくれる みんなの先生だ。



石橋の町に
楽しさが
はずむ。

「花と緑と鳥にかこまれた学校
づくり ● 下益城郡砥用町立励徳小学校

「先生、双眼鏡貸して!」子供達の元気な声と共に、十五個ある双眼鏡があつという間になくなってしまいました。砥用町立励徳小学校では、休み時間になると双眼鏡や望遠鏡を熱心にのぞき込む子供達の姿があちらこちらに見られます。野鳥の観察をしているのです。同校は、六年前に統合されてできた新しい学校ですが、「新しい伝統を作ろう」を合言葉



恵まれた自然環境の中で、子供達は、野鳥を通して、自然の豊かさ・不思議さ・樂しさを学びながら、その自然を大切にし、自然と共に生きようとする心を育てているようです。

今度は、湖のまん中の方へ飛んでいった。……残念なことに見失つてしまつたのだ。
「あああ。」みんな、口を合わせて言つた。
だが、ぼくは見れただけでうれしかつた。
バードウォッチングつて、楽しいなあ……と、あらためて思つた。

